

のアルバム

全国大会へ向けて！

▼10月4日 市役所

10月28日～30日開催の第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔^{えがお}つなぐえひめ大会」に、卓球の脇恵子さん（久野部）、水泳の荒木幸太さん（富波甲）が出場されることになり、激励会が行われました。

全国大会には脇さんは3回連続の出場、荒木さんは初出場となり、市長から出場にあたっての抱負を尋ねられると、脇さんは「連続で出場できる最後の年なので、精一杯頑張りたい。」、荒木さんは「積極的にメダルを狙っていきたい。」とそれぞれの決意を語っておられました。

全国の舞台で素晴らしい成績を収められることを期待しています。



左から脇さん、市長、荒木さん親子

▼9月13日 市役所

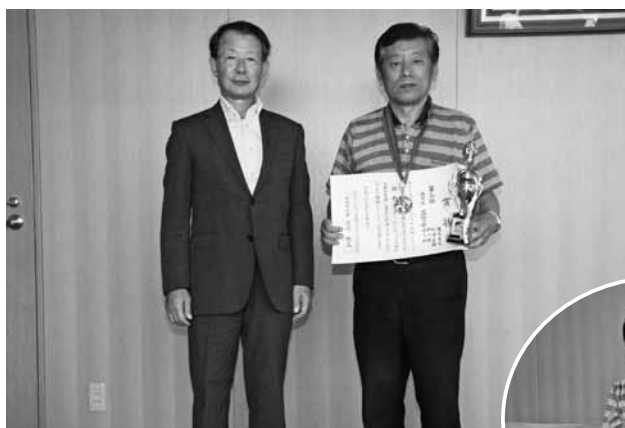
全国大会 堂々の3位入賞！

第30回全国健康福祉あきた大会（ねんりんピック 9月9日～12日開催）において、将棋団体戦の滋賀県代表として出場された細川努さん（近江富士）が全国第3位に輝かれ、市長に報告のため訪問されました。

準決勝では惜しくも埼玉県代表に敗れましたが、1回戦、2回戦とも全国の強豪を相手に勝利を積み重ね、全国に滋賀県の名を轟かす活躍をされました。

市長から今後について尋ねられると、「2年後のわかやま大会では優勝報告ができるようもっと練習を重ねたい。」と誓いを新たにされていました。

2年後の優勝報告を楽しみにしています。



まちづくりに活用します！

日本発条労働組合滋賀支部から市へ「まちづくり寄付金」のご寄付をいただきました。

平成23年度から毎年、同支部からご寄付をいただいております。今回は「人権が尊重され、福祉の充実した地域社会を実現するための事業」への活用を希望されています。

ご寄付に感謝し、市民の皆さんのよりよい生活のために有効に活用させていただきます。

▼8月24日 市役所



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(158)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

み かみじんじや こまいぬ 御上神社の狛犬さん

— 21年ぶりに里帰り! —

平成30年(2018)に遷座1300年を迎える御上神社(野洲市三上に鎮座)には、数多くの文化財が伝わっていますが、特に注目されているのが重要文化財の木造狛犬です(「遷座」とは、神殿の改修造営に際して、神霊をうつすことです)。

狛犬は空想上の守護獣で、神社に奉納・設置されています。獅子(阿形)は無角・狛犬(吽形)は有角で、一対の形式をとることが多く、一般的にこれら一対を「狛犬」と呼んでいます。御上神社の木造狛犬も獅子・狛犬一対の作品です。

この狛犬は阿形・吽形ともにヒノキ材を用いた寄木造(いくつかの木材をはぎ合せて像を仕上げる方法)で、平安時代後期(11世紀後半)の作とされています。胴の半ばで前後二材を刳ぎ寄せ、後肢(後ろのあし)と尾を刳いでいます。

阿形は総身に金箔を押し、たてがみは緑青彩です。吽形の体部は黒漆塗り(現状)、たてがみは白緑彩で、頭上には角の痕跡が残っています。

この狛犬は、頭部がうなだれており、前肢(前のあし)を手前に引いた前傾姿勢で、頭部は小さく、ややうなだれてうつむき、やさしい目のおとなしい顔立ちをしています。たてがみは跳ね上がることなく体に沿って流れています。荒々しさがなく、狛犬のなかでも和様表現を極めた作例として注目されているものです。

この狛犬は、平成26年(2014)に修理を終えて、今回、寄託先の京都国立博物館から21年ぶりに里帰りしました。この機会に、ぜひ木造狛犬をご観覧ください。

(博物館学芸員 齊藤慶一)



重要文化財 木造狛犬 一対(御上神社蔵)

■秋期企画展「近江の古社 御上神社の歴史と文化 —遷座1300年記念—」

開催中~11月19日(日)まで

「関西文化の日」11月18日(土)・19日(日)はどなたでも入館無料

休館日: 月曜日

※市民は入館無料



100歳おめでとう①

100歳の誕生日を迎えた田中ゆみさん(木部)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正6年9月4日生まれのゆみさんは、女手一つでお子さんを育てられ、壮年期以降はゲートボールや旅行を楽しむなど活発に過ごされていました。

この日は、ご家族の皆さんや、施設の皆さんが盛大に祝福されていました。

いつまでもお元気で。

▼9月13日 南桜



100歳おめでとう②

100歳の誕生日を迎えた細川シマさん(栄)を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正6年9月9日生まれのシマさんは歌を歌うことが大好きで、この日は、ご家族の皆さんに祝福され、市長から賞状が手渡されると、「ありがとうございます。」と感謝されていました。

いつまでもお元気で。

▼9月13日 栄

